



THE Y's Men's Club of Atami of Glory



Service Club of YMCA

2024年2月 NO472号

国際会長主題 Ulrin Lauridsen

今月の聖句

アジア地域会長主題 利根川 恵子

「輝かそう、あなたの光を」

東日本区主題 山田 公平

未来の為に今、学びと気づきを
未来の為に、自信を育み、真の
喜びと出会う。

キリストと結ばれる人は、誰でも
新しく創造されたものなのです。
古いものは過ぎ去り、新しいもの
が生じた。

コリントの信徒への手紙二第5章17節

「変革の為にひかりとなろう」

富士山部部長主題 榎本 博

「NEO富士山部」

熱海グロリーワイズメンズクラブ会長主題

小野田 政弘

「笑顔で挑戦し、変えるものは変えましょう。」

2024年2月例会プログラム

日時	2月28日(水)	18:30~21:00
会場	静岡YMCAセンター	
受付	勝又 隆吉	
司会	宝田 昌孝	
・開会点鐘	会長	小野田政弘
・聖句朗読・開会の祈り		大瀧 峰子
・ワイズソング		全 員
・ワイズの信条		綾野 憲夫
・会長挨拶ゲストビジター紹介	会長	小野田政弘
・書記報告	書記	勝又 隆吉
・食前の祈り		宝田 昌孝
	会食	
・委員会報告		各委員会
・誕生日・結婚記念日祝い		司会者
・出席・スマイル・Y基金報告		担当委員会
・閉会の言葉		勝又 隆吉
・閉会点鐘	会長	小野田政弘
	臨時総会	
・次期会長指名の件		
・富士山部次々期役員の内		
・40周年記念事業の内		

1月例会報告

会報委員会 神杉 彰

新年合同初例会が開催されました。



食事会風景

熱海クラブとの合同例会でKKRホテルにて実施されました。開会后、年賀はがきコンテストの表彰式がありました。会場後方には多くの作品が展示されており、会場は華やかで

コミュニケーションがとれていい雰囲気で行いました。その後、熱海クラブの村上会長や当クラブの小野田会長が挨拶され、その後、藤曲県議会議員、富士山部の榎本部長の挨拶と移りました。当クラブの小野田会長から通常のスミールではなく能登半島で災害された方々への募金と呼びかけ多くの支援がありました。今後も支援を継続していかなければと思います。また、熱海市においても防災の危機意識を改めて見直すいい機会となりました。

在籍者12名(セニア会員3名)		スマイル・YMCA基金		クラブ概要
出席者	12名	スマイル	12,000円	会長 小野田政弘
ゲスト	0名	スマイル累計	97,000円	副会長 綾野 憲夫
ビジター	0名	YMCA基金	4,755円	書記 勝又 隆吉
メネット	0名	YMCA基金累計	21,407円	幹事 菅谷 正
出席者合計	12名	OFFICE 静岡県熱海市上宿町18-9		YMCA熱海センター 0557-82-8521
出席率	100%			

月例会 毎月第4水曜日 18:30~21:00 小野田会長携帯 090-7039-8275

活動報告

2024年1月合同新年例会

■ 広報委員会 神杉 彰



年賀状コンテスト表彰式



誕生日・結婚記念日祝い

新たな気持ちで合同例会開催です

熱海クラブとの合同例会が始まる前に、年賀はがきコンテストの表彰式がありました。熱海ワイズメンズクラブ会長賞受賞は泉中学校の小林さん、熱海市教育長賞受賞は熱海中学校の平野さんが来場され、受賞されました。会場後方に展示された作品は、それぞれの個性があり、辰年ということもあって躍動感ある作品が多く見受けられました。例会は熱海クラブの村上会長や当クラブの小野田会長が挨拶がありました。富士山部の榎本部長からは参加人数の減少に叱咤をいただき、ワイズメンズクラブの信条でもある出席第一を改めて心に留めておかなければと気を引き締める場面もありました。誕生日・結婚祝いでは11名の方がお祝いされました。その後、ゲストの1分間スピーチを楽しく話されて会場は笑いと拍手の渦となりました。御殿場クラブの楽しいスピーチは特に会場は和やかになり進行了しました。また、元旦に発生し今も余震が続く能登半島地震。災害された方々へ少しでも支援をという小野田会長からの呼びかけがあり、熱海クラブと当クラブ、また、他クラブより多くの募金がなされました。支援の手はこれからも続けていかなければなりません。熱海市においても防災の危機意識を改めて見直す機会となればと考えさせられました。

関東大震災とYMCA

■ 副会長 綾野憲夫

YMCAの組織は、恐るべきで驚きの力です



被災者支援活動

元旦の能登半島地震は正月気分を吹き飛ばす大きな衝撃でした。そして今も現地の悩み苦しみは続いています。私達はワイズメンズクラブというボランティア組織に属しYMCAを支援していますが、私達の先達YMCAの災害支援の歴史を振り返ると、その時に必要とされる支援を行政の壁を乗り越えながら実践した歴史がありました。日本YMCA同盟の機関紙THE.YMCA2023年9月号に100年前の関東大震災の時にYMCAがどのような支援活動を実践したかが、ダイジェストで紹介されています。

義援金を北米YMCAから80億円いただいたほか国内YMCAも資金・救援物資の募集に活躍しました。しかし、驚くことに救護テント活動や救護本部・支部の設置、避難民の収容・他団体との協働、慰安・教育・宗教指導事業等、現在では行政が行なっていることも実施しています。おそらく当時は行政の力が今ほど無かったので、民間団体の力も必要とされていたのでしょう。今なら余計なことをすると許されないでしょうが、混乱した現場ではヤクザ組織の炊き出し（阪神淡路大震災当時の山口組）さえ有り難いのです。必要なことを速くが鉄則なのです



自動車運転教習

当時の東京は路面電車が活躍していましたが、その復旧には相当時間が必要なため、即効性のある自動車による交通インフラの整備を考えたものでした。自動車はアメリカのT型フォードで800台が調達されるのですが、その運転手の教習にYMCAが一役買ったのです。

他クラブ訪問報告

沼津・三島・御殿場クラブ合同新年例会

■ 書記 勝又 隆吉

二人の入会式で大いに盛り上がりました

1月11日、御殿場東山荘にて三クラブ合同例会が開催され、グローリーからは小野田会長、綾野、勝又が出席しました。さすが御殿場の寒さは格別、そんな中いつものメンバーが温顔で出迎えてくれ暖かいコーヒーを振る舞ってくれました。例会の司会は御殿場クラブのベテラン杉山将己Ysでスタート、公式訪問の榎本富士山部長に続いて各クラブ会長の挨拶がありました。その中で新年早々の能登半島の地震災害に対し、お見舞いの言葉とワイズメンがどう支援するかとの話が異口同音に語られました。

続いて本日のメインイベントであります入会式が厳粛に執り行われました。若々しい二人の青年の入場で会場は暖かい拍手で歓迎しました。お二人の力強い言葉を聞き、今後は早くクラブに溶け込み活躍されることを皆が期待していました。御殿場クラブの皆様のEMC活動への熱意と努力を見習い、グローリーも頑張りたいと思います。また、東山荘のビュッフェスタイルのお食事タイムにはお隣の富士五湖クラブのご夫婦によるギターの演奏があり楽しいひと時を過ごさせていただきました。

入会式

ギター演奏

下田・伊東クラブ合同新年例会

■ 副会長 綾野 憲夫

小さな活動が世界を動かします

1月17日天気快晴。今日の初例会訪問は一番遠い下田クラブ、伊東クラブ合同例会で、下田クラブがホストです。何せ下田までは車で片道2時間半の長丁場、出来るだけ明るい時間帯に走ろうと言うことで3時スタート。順調に下田に着きましたが会場のホテルベイ・クロシオを見逃しUターンするなどロスがあり、丁度良い時間に到着しました。クラブ訪問の楽しみはこんな小旅行のような体験もあります。

今日は下田クラブがホストですので受付から司会と少ない人数で例会を切り盛りされて大忙しの様子でした。お酒を飲む暇も休む事も無く御苦労さまでした。下田クラブは、少ない人数ながら堅実なクラブ活動を続けており、我々クラブも参考にすべきところが沢山あります。一言で言うと、教職経験の方が多いせいか、学校、施設、お寺などと協力した活動企画が多く、我々とは一味違ってきます。

さて今回の例会のイベントにの不要ランドセルのアフガニスタンへの寄贈も独自企画ではありませんが、他の組織と協力し学校に呼びかけるなど下田ならではの活動だと思いました。リユーズは世界の共通のテーマで資源を無駄にしない考え方です。小さな動きでも率先して動く事で世界を動かす事も不可能では有りません。

今回は他にも書道家（元会員の娘さん）が即興で太筆による書き初めの披露がありました。また、私達グローリーの面々が係わっている4月28日の静岡YMCAの50周年記念事業のアピールがYMCAの青木副理事長から行なわれました。私たちはYMCAの支援団体ですが、ワイズメンズクラブがすべての活動している特殊な構造です。静岡YMCAが全国的な見本となるように活動する必要が有ります。50周年記念事業を成功させましょう。

書き初め



ランドセルの寄贈

アピールコーナー

■ 広報・会報委員会 神杉 彰

熱海のビーチを輝いた環境にしたい。



恒例となっている熱海の花火大会後は多くのごみが散乱されている時が多く非常に残念に思っていました。2024年は花火大会後のビーチクリーン作戦を開始したいと思います。本日の日の出は6:33ですので、6:00から開始してみました。夏の花火よりは少なく感じましたが、やはり、ペットボトルや缶、手持ち花火の残骸、たばこの吸い殻、食事した後の容器などが残されていました。ビーチの西側から進めっていると初老の方が同じくゴミ袋を持ってゴミ拾いをされています。「あなた、どこのひと?」と聞かれ、「熱海グロリーです」と答えました。すると「慈善団体か。ありがとうね」と一つ目の感謝をいただきました。その後、駐車場の管理人さんから感謝をいただき、本日は2つの感謝で終了です。夜空にあがるきれいな花火を観覧したのであれば、こころもビーチもきれいになってほしいですね。そして朝日に手を合わせて帰宅しました。

祝 事

■ Happy Birthday

2月 9日 勝又隆吉

2月27日 大瀧 実

■ Menettes Happy Birthday

2月28日 藤間 つる

■ Wedding Anniversary

該当者有りません

静岡YMCA 俳句の会

2月句会

初春や中州に二羽のこうの鳥

正子

今日一日男厨は春うらら

おさむ

熱海いま春の誘ひに浮かりけり

政ひろ

春近し紙面連日花だより

正

じっとして動かざる雲冬の空

隆吉

温々と婆の湯湯婆あさまでも

のり夫

第8回 2月役員会報告

■ 書記 勝又 隆吉

期日 2024年2月14日(水)

場所 静岡YMCA熱海センター

会長挨拶

記念事業は時間との戦いです。皆さんの考えを、活発に出して頂き前に進めて行きましょう。よろしくお願いします。

議題

- 1・創立40周年記念事業の役割分担について
役割分担
・実行委員長 勝又 隆吉
・総務委員長・実行委員長(第一部責任者・第二部責任者)・記念誌委員長の選任案を選出した。
- 2・臨時総会実施について
次期役員の承認
次々期富士山部役員の承認
- 3・会報委員会
2月21日17時より校正会を実施する。

お年玉切手シートの提供のお願い
当選番号下二桁 71・69・00

2024年3月例会予告

期日

3月28日(水)

場所

YMCA熱海センター

受付

小林隆・勝又隆吉

司会

神杉 彰

聖句朗読・開会の祈り

小野田政弘

ワイズの信条

大瀧 峰子

食前の祈り

大瀧 実

閉会の言葉

勝又 隆吉